

## 普及活動情勢報告（令和5年10月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### JA 土佐くろしお高知県版 GAP 取り組み強化月間！ ～園芸5部会 GAP 合同巡回～



部会員、営農指導員とともに点検する普及指導員

9月20日、JA土佐くろしお営農指導員と共に、シシトウ部会員5人のほ場を巡回し、高知県版GAPの取り組み状況を確認しました。ほ場では、主に農薬安全使用について、農薬の保管状況やGAP点検シートの記入状況を、部会員と共に確認しました。

当課は、GAPに取り組むことが産地の評価や信頼性の向上につながることを説明しました。

GAP合同巡回を、園芸5部会の役員20戸程で9月に実施しています。

今後も関係機関とともに高知県版GAPを活用し、より良い農業の実践を支援していきます。

### SAWACHI の普及に向けて ～NTT ドコモスマホ教室～



NTT ドコモ職員の説明を聞く参加者ら

9月26日、須崎商工会議所で、農業イノベーション推進課がNTTドコモ職員を講師にスマホ教室を開催し、生産者5人、JA職員2人、当課職員3人が参加しました。

当課は教室の開催を支援し、他の参加者と共に自身のスマホを実際に操作しながら、SAWACHIへのログイン方法、操作方法及び機能の紹介等の説明を受けました。

引き続き、本教室の開催を支援し、SAWACHI データを活用した栽培管理や病害虫対策の巡回指導を行い、収量・品質向上を支援していきます。

### 茶栽培の基礎を勉強しよう ～津野町地域おこし協力隊員の茶栽培勉強会～



真剣に話を聞く地域おこし協力隊員

10月6日、須崎総合庁舎会議室において、令和5年4月に着任した津野町地域おこし協力隊員1人を対象に、茶栽培の勉強会を実施しました。

当課は、茶栽培の年間スケジュール、主要な病害虫及び茶の経営実態について説明を行いました。地域おこし協力隊員からは、施肥の時期や農薬の使用方法などについて質問があり、「茶栽培についてとても勉強になった」との感想がありました。

今後も、つの茶の担い手育成のために関係機関と連携して勉強会を開催していきます。

作業環境の改善や作業効率の向上に取り組もう ～カイゼン研修会～



カイゼンについて説明する普及指導員

10月10日、中土佐町のJA土佐くろしお久礼支所で、中土佐町青年部から相談を受けてカイゼン研修会を開催し、生産者や営農指導員の計7人が参加しました。

当課は、カイゼンの取組の概要や実践効果の説明、稼働分析の演習、農業現場の取組事例紹介などを行いました。

生産者からは、「整理・整頓やホワイトボードの導入などを行いたい」といった意見や「自分は取り組みたいが親の意識を変えるのが難しい」といった悩みが聞かれました。

今後は生産者ごとの課題を聞き取りながら、カイゼンの取組実践を支援していきます。

ユズ産地の活性化に向けて ～津野山ユズ部会と馬路村農業協同組合との出荷前意見交換会～



園地での草刈り機の実演

10月10日、馬路村で、津野山ユズ部会が馬路村農業協同組合との出荷前意見交換会を開催しました。津野山地域からは、部会員、JA高知県高西営農経済センター職員、当課職員の計12人が参加しました。

会では、出荷日などの確認がなされ、当課からは、津野山地域の今年の果実肥大状況、着果数について情報提供を行いました。

また、園地で草刈り機の実演による省力化の説明があり、参加者からは「導入したい」との感想がありました。

今後も、津野山地域のユズ生産を支援していきます。

農作業の労力低減に向けた省力化機器のPR ～第18回大野見しんまいフェスタ～



アシストスーツを紹介する普及指導員

10月15日、中土佐町大野見青年の家で第18回大野見しんまいフェスタが開催され、生産者を含む多くの方が来場しました。

当課は、省力化機器の紹介ブースを設置し、当課が所管するアシストスーツの展示・試着やスマート農業機器の紹介をしました。

アシストスーツを試着した参加者からは「繰り返し作業の負担軽減につながるのではないか」「高齢化が進む中、農業を長く続けるには省力化が必要」などの意見がありました。

今後も、アシストスーツの貸し出しやスマート農業機器に関する情報発信等を行っていきます。